‘星空舞’における レンゲ跡水田での窒素施用法

レンゲ跡水田における適正な施肥法について明らかにしました♪

レンゲ生草量が0.5～1t/10a程度であれば、基肥無施用＋葉色診断による穂肥施用で安定した‘星空舞’栽培が可能です♪

⇒穂数を生育指標内（360本/m^{2}以下：平坦地）に抑えることができます。

⇒収量500kg/10a以上および精玄米歩合92%以上を確保できます。

⇒整粒率70%以上および食味値75以上を達成できます。

【穂肥の葉色診断について】
穂肥Ⅰ時期（幼穂長8～10mm）の葉色がSPAD値35未満の時に2kg/10a施用、穂肥Ⅱ時期（穂肥Ⅰの8日後）の葉色がSPAD値32以下の時に2kg/10a、32～35の時に1kg/10a施用
葉色の目安は「星空舞」栽培手帳をご覧ください。

【具体的データ】

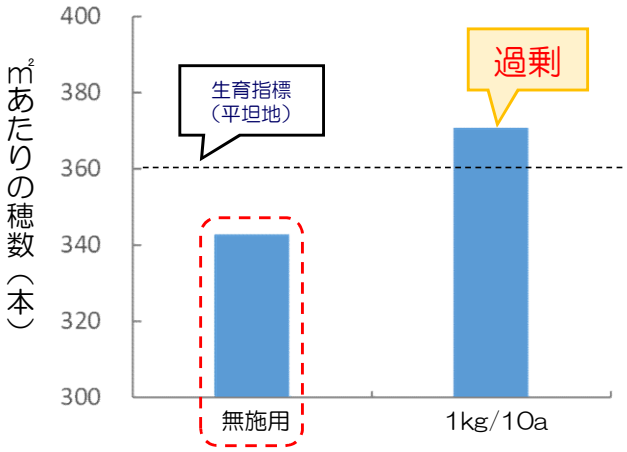


図　レンゲ鋤き込みほ場における
基肥窒素施用量と穂数の関係

【各図共通】
- 試験は2020～2021年に実施。
- 鋤き込みレンゲ生草量（窒素量）は、以下の通り。
  2020年：500kg/10a（2.7kgN/10a）
  2021年：880kg/10a（4.7kgN/10a）
  ※レンゲの窒素含有率は0.4%とし、地下部の窒素量は地上部の1/3とした。

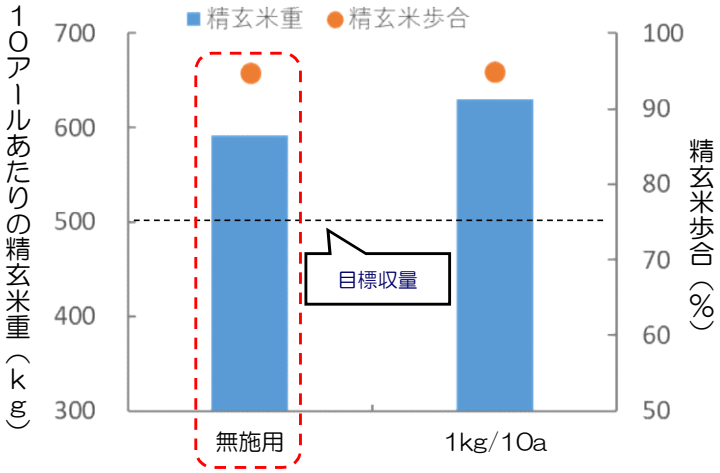


図　レンゲ鋤き込みほ場における基肥窒素施用量と
収量・精玄米歩合の関係

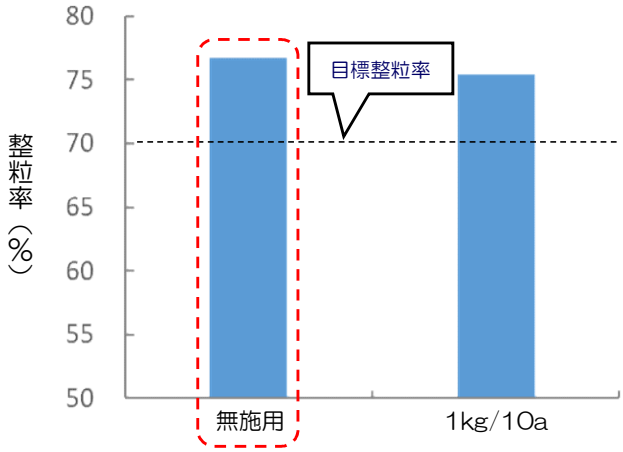


図　レンゲ鋤き込みほ場における
基肥窒素施用量と整粒率の関係

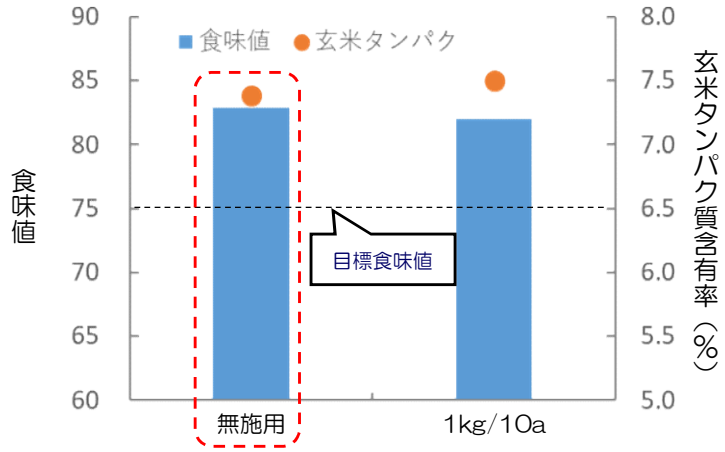
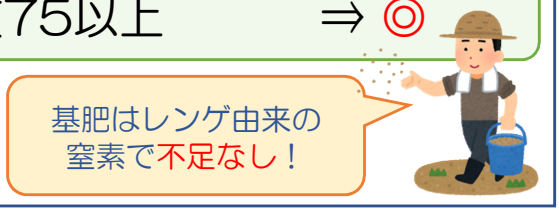


図　レンゲ鋤き込みほ場における基肥窒素施用量と
食味値・玄米タンパク質濃度の関係

レンゲ跡では基肥無施用としても
各種目標値に対して…
- 精玄米歩合92%以上 ⇒ ◎
- 収量500kg以上 ⇒ ◎
- 整粒率70%以上 ⇒ ◎
- 食味値75以上 ⇒ ◎



利用上の留意点

1）グライ低地土ほ場で2020～2021年に実施した試験である。
2）レンゲ生草量0.5～1t/10aの目安はレンゲ草丈35cm程度。
3）鋤込みは移植20日前までに実施する。
4）栽培期間中はガス湧きが多くなるため、２～３日落水によりガス抜きを行う。
5）レンゲ生草量が多くなりすぎた場合は、鋤込み時期を早めるとともに中干しを十分に行い、土壌中の過剰な窒素を低下させる。
6）レンゲ＋基肥窒素1kg/10aでも収量・食味値・整粒率に問題がなかったことも考慮し、R5年よりレンゲ鋤き込み量の適応範囲拡大を検討中である。

（問い合わせ先）　鳥取県農業試験場 環境研究室　　TEL：0857－53－0721

※本書から転載複製する場合には必ず農業試験場の許可を受けて下さい